



# オルガード T-800 シリーズ

## スライムコントロール剤

冷却水系等に微生物が繁殖し、スライムが発生すると、熱交換率の低下や配管閉塞といった障害をもたらすばかりでなく、機器や配管等の局部腐食の原因にもなります。

オルガード T-800 シリーズは、殺菌・殺藻作用を有し、効果的に障害を防止する、優れたスライムコントロール剤です。

### ■タイプと性状 (以下の値は代表値であり、製品規格値ではありません。)

品番		T-817	T-818	T-819	T-842	T-843
有効成分		イソチアゾロン系	有機窒素臭素系	イソチアゾロン系 有機窒素臭素系	イソチアゾロン系 有機窒素臭素系	イソチアゾロン系 有機窒素臭素系
用途	冷却塔	○	△	◎	○	○
	冷温水	○	△	○	△	△
	スクラバ	△	△	○	○	◎
	洗浄	△	◎	△	○	◎
対レジオネラ属菌		◎	○	◎	◎	◎
効果	持続性	○	△	◎	○	◎
	即効性	△	◎	△	○	◎
特徴		・広範な用途に適用可能 ・常用処理に有効	・スライム洗浄に最適な優れた即効性 ・有機物負荷(COD)に注意	・広範な用途に適用可能 ・持続性強化品	・優れた即効性及び持続性 ・有機物負荷(COD)に注意	・優れた即効性及び持続性 ・有機物負荷(COD)に注意
性状	腐食性	低	低	低	低	低
	発泡性	低	低	低	低	低
	水溶性	高	高	高	低	低
物性	外観	淡青色液体	無色～淡黄色液体	黄色液体	無色～微黄色液体	無色～黄色液体
	pH(代表値)	1.7 (原液)	2.3 (原液)	3.3 (原液)	3.3 (1%)	4.3 (1%)
	比重(代表値)	1.04	1.08	1.05	1.06	1.23
	凍結点(°C)	<-5	<-5	<-5	<-5	<-5
CODMn(gO/L)		10	21	28	145	542
注入量 (g/m <sup>3</sup> ) ※保有水量 に対し	洗浄	—	200～500	—	300～500	100～300
	間欠 (1～3回/週)	100～300	200～500	100～300	100～300	50～100
	連続 (循環水保持)	100～300	—	100～300	100～300	50～100
荷姿 *BIB:パッグインボックス		・10kg BIB ・1L×10本/箱	10kg BIB	10kg BIB	10kg BIB	1L×10本/箱

\* T-817、T-842、T-843は「抗レジオネラ用空調水処理剤協議会登録薬剤」です。

## ■使用方法

### 1. 通常処理の場合

- ・ 各薬剤の「注入量」を目安に、薬注ポンプで注入してください。
- ・ 薬注ポンプを使用しない場合は、冷却塔下部水槽など水流がある部分に一括投入してください。
- ・ 間欠注入の場合は、できるだけ水の入れ替わりが少ない時(ブロー直後等)に行ってください。
- ・ 汚れがひどい場合は、出来るだけスライム洗浄を実施し汚れを除去してください。
- ・ 有機系スクラバ等の影響でスライム発生が激しい場合は、追加投入や環境改善が必要となる場合があります。

### 2. スライム洗浄処理の場合

- ・ 洗浄処理に必要な処理量を一括して投入してください。
- ・ 洗浄中は、ブロー量を減らしたまま数時間から数日洗浄してください。
- ・ 洗浄後は、強制ブローして水をできるだけ張り替えてから、通常処理を開始してください。
- ・ 洗浄が原因でストレーナーが詰まる可能性があります。ストレーナーの詰まりにご注意ください。

## ■使用時の確認事項

- ① 薬液槽や薬注ポンプ等の接液部には耐酸性のものを使用し、金属類は避けてください。
- ② 薬注装置まわりは、漏出や噴出のないようにホースの耐圧や接続部の固定等を確認後、設置してください。
- ③ T-842、843は難水溶性であり、安定性が低下することがあるため、製品の希釈使用は避けてください。

## ■取扱い上の注意

- ・ 取扱いおよび安全情報の詳細は「安全データシート(SDS)」をお読みください。
- ・ 本製品群は皮膚刺激性、毒性が強いので必ず保護具を着用し、換気の良い場所で作業してください。
- ・ 取扱いの際には保護眼鏡やゴム手袋等の保護具を必ず着用してください。
- ・ 眼に入った場合は、直ちに大量の水で少なくとも15分以上洗眼し、眼科医の治療を受けてください。
- ・ 皮膚に触れた場合、洗浄が遅れたり不十分だと炎症や水疱を生じる恐れがあります。  
付着時は汚染した衣服を脱ぎ、多量の流水で、石鹼を用いて触れた部分を洗い流してください。  
皮膚に炎症を生じた場合には医師の手当てを受けてください。
- ・ 開封後は容器を密栓し、凍結・直射日光を避け、換気の良い冷暗所で保管してください。
- ・ 本製品をタンクに貯留し長期使用した場合、析出物等が発生し、吐出不良が発生する可能性がありますので、  
1回/半年以上はタンク内を確認し、必要に応じて清掃を行ってください。
- ・ 配管注入の場合は、サイホン止めチャッキ弁・リリーフ弁を設置してください。サイホン止めチャッキ弁・リリーフ弁は  
1回/半年以上は、動作確認・清掃を行ってください。

本カタログ記載製品は、場合によっては輸出令による経済産業省の輸出許可が必要になりますので、輸出する場合は必ず当社または販売店にお問い合わせください。

## オルガノ株式会社

[機能商品事業部]

〒136-8631 東京都江東区新砂1丁目2番8号  
TEL: 03-5635-5214 FAX: 03-3699-7244

オルガノホームページ <https://www.organo.co.jp>

親切とサービスをお届けする販売店

株式会社イーライフ  e-life

〒581-0885 大阪府八尾市神宮寺5-184  
TEL 072-943-6003 FAX 072-943-6009